

3.1.3 情報セキュリティユニット

ユニット長 松島裕一

情報セキュリティに関する技術の研究開発

概要

情報通信による国民の安全・安心を目指して、その基盤となる情報セキュリティ技術に関し、NICT関係部門が展開している基礎から応用までの研究開発プロジェクト間の横の連携を図るとともに外部機関との連携を推進し、効率的なオールジャパンの研究開発体制を確立することを目標とする。

このため、情報セキュリティに係る研究開発プロジェクトの支援、プロジェクト間及び外部機関との連携、成果の発信を推進する。また、研究開発の推進に当たっては、外部の有識者からなる情報セキュリティサポートメンバー会議を開催し、総合的な研究開発の方向性の検討、外部機関との連携強化、迅速な成果展開を促進する。具体的には、以下の内容と方法による。

(1) 平成17年度の関連プロジェクトの進捗状況、課題の把握

① 情報通信危機管理基盤技術の研究開発

ア 不正アクセス再現、モバイルアドホックネットワーク、広域抗脆弱性ネットワーク等の研究開発

イ サイバー攻撃対策技術、高度セキュアサービスプラットフォーム構築技術、コンテンツ利用の安全性を向上させる技術の研究開発

ウ 新しい原理の公開鍵暗号、共通鍵暗号及び秘密分散等の暗号プロトコル等の理論研究

② ネットワークセキュリティ技術の研究開発

ア IPトレースバック技術

イ 誰でも利用・改良・評価できる安全な電子透かし技術

ウ 大容量データの安全な流通・保存技術に関する研究開発

エ 暗号モジュールの評価・構築・流通基盤技術

オ 安全・安心なネットワークの管理・運用技術

(2) 中期計画通期での成果の総合的取りまとめ

(3) 次期中期目標、計画の検討

平成17年度の成果

(1) 総務省、学識経験者、ISP、メーカー、OS・セキュリティソフトのベンダーなど総勢30名規模のサポートメンバー会議を引き続き開催した。

(2) インシデント情報の収集・分析について自主研究と委託研究の連携による研究成果報告を行い、Telecom-ISACとの連携等を推進した。

(3) NICT機関誌(季報及びジャーナル)や研究発表会などを通じて、情報セキュリティユニットの研究成果を積極的にPRした。



第2回情報セキュリティサポートメンバー会議の様相
(平成18年1月13日)



NICT研究発表会における展示の様相
(平成17年11月30日)